６月22日（月）15:30【確定】
秘書課　片岡(内線2013)

質問要旨

６月２３日（火）　一般質問９　竹内議員（自民党）　２０分

【県民文化】

１　長野県人権尊重の社会づくり条例（案）について

（１）本条例（案）における「差別的言動」「誹謗中傷」等の判断基準をどのように考えているのか。また、行政施策や政治的課題に対する批判や意見表明など、憲法で保障された表現の自由や正当な言論活動が萎縮することのないよう、どのような配慮を行うのか伺う。**（小池県民文化部長）**

（２）人権オンブズパーソンはどのような基準で人権侵害の有無を判断するのか。また、その独立性や中立性をどのように担保するのか伺う。**（小池県民文化部長）**

（３）要請や公表は対象者の社会的評価に大きな影響を及ぼす可能性がある。そのため、どのような場合に要請・公表を行うのか。また、対象者への説明や反論の機会、第三者による確認手続などはどのように確保されるのか伺う。
（小池県民文化部長）

（４）インターネット上の人権侵害への対応について、県が削除要請や被害者支援を行う際の判断基準はどのようなものか。また、公益目的の情報発信や行政・政治に対する批判的言論との区別をどのように行うのか伺う。**（小池県民文化部長）**

（５）人権保護の推進と、憲法で保障された表現の自由や民主的な議論の確保は、いずれも重要な価値である。県として両者のバランスをどのように考えているのか。
（阿部知事）

【林務】

２　有害鳥獣対策を支える猟友会の持続可能な体制整備について

（１）今後、有害鳥獣対策の重要性が一層高まることが見込まれる中、猟友会をはじめとする捕獲従事者を県民の安全を支える公共的な存在としてどのように位置付けているのか。また、県民の命と暮らしを守り、子どもたちが安心して学び育つ環境を維持し、中山間地域を次世代へ引き継いでいくために、持続可能な有害鳥獣対策体制をどのような方向性で構築していくのか、考えを伺う。**（阿部知事）**

（２）県では現在、猟友会や狩猟者の確保・育成に向けてどのような支援を行っているのか。また、消防団員に対する支援制度なども参考にしながら、狩猟免許取得費用や猟銃や装備品購入費用への支援拡充、 若手や女性ハンターの育成と確保、有害鳥獣捕獲従事者への処遇改善や活動支援、市町村単位では対応が困難な大型獣対策に対応する広域的かつ専門的な捕獲体制の整備について、今後どのように取り組んでいく考えなのか伺う。**（千代林務部長）**

３　学校給食費の抜本的な負担軽減を契機とした給食の質の向上と地産地消の推進について

【農政】

（１）学校給食費の抜本的な負担軽減が実現した今後、県産農産物や有機農産物の活用などを通じ、学校給食の質の向上と地域農業の振興を、市町村等と連携しながらどのように進めていく考えか伺う。**（根橋農政部長）**

【教育】

（２）学校給食費の抜本的な負担軽減が実施された後においても、学校給食の質を落とさず、栄養価や献立内容を維持・向上させるため、県としてどのような支援を行っていく考えか伺う。**（武田教育長）**

【教育】

４　教員による性暴力の根絶に向けた取組と再発防止・被害者支援について

（１）県教育委員会において、教員による性暴力や不適切な交際等に関する相談・通報件数をどのように把握しているのか。また、被害児童生徒や保護者が安心して相談できる体制は十分に整備されていると考えているのか伺う。**（武田教育長）**

（２）教員と児童生徒との私的ＳＮＳ利用や個人的接触について、県教育委員会としてどのようなルールを設け、どのように徹底しているのか伺う。**（武田教育長）**

（３）日本版ＤＢＳの本年度導入を見据え、長野県としてどのような再発防止策や学校現場のチェック体制強化を進めていくのか伺う。**（武田教育長）**

（４）長野県として、教員による性暴力や盗撮、不適切な交際等を絶対に許さないという強い姿勢の下、子どもたちの安全を守る学校づくりをどのように進めていく考えか伺う。**（武田教育長）**